

2026 年度一般入学試験問題

国語【看護学部】

(2月13日)

開始時刻 午後1時00分

終了時刻 午後2時00分

※ 数学の問題は、本冊子の左開きのページにあります。

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. 国語か数学のどちらか1科目を選択し、該当する解答用紙を切り離して解答してください。2科目とも解答した場合は、すべて無効となります。

国語 1～17 ページ

4. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

5. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。

(例)

10	Ⓐ	Ⓑ	◎	Ⓓ	Ⓔ
----	---	---	---	---	---

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の記事を読んで、問一〜八に答えなさい。

* ことばが〈もの〉の意味を十全につたえる記号である以上、〈もの〉がこんにちのように激しく変化すれば、ことばと〈もの〉との間には多少ともキレツが生じて、ことばの道具的有効性がへってしまうのは自明であろう。使いふるしたことばで新しい事態を命名すればズレが起こるし、といって「自分のことば」を見つけないことが簡単にはいかない以上、ひとはそこでことば喪失の危機に陥る。大学改革ののろしをあげてはげしく闘ったあの全共闘が運動の挫折とともに沈黙の淵にしずんだのは、かならずしもエネルギーの衰退によるだけではなく、このようなことば喪失、いつてみれば「X」の状態に陥ったためともみなせよう。ことばの喪失はしかし一方ではげしいことばの飢餓感をあおらないではない。街に氾濫するカタカナのたぐいはこうして生まれるが、その大部分はあぶくのように実体を欠いたままふたたび消えていつては、また新しいカタカナと入れ替わる。

ことばの危機は、また、ことばによる疎通の危機という面にもはっきり現われている。つい最近の新聞にも、「五歳の子に昔話を聞かせても通じない」という主婦の投書が載った。花咲かじいさんが「枯れ木に灰をまく」といったら「ハイ」がわからない。「スミ火のあとに残るもの」と説明すると、「お習字のスミか」と聞き返されたという。この投書は、親の熟知していることばがたかだか二十数歳の年齢の開きしかない子供にすなりと伝わっていない事実を嘆いているのだが、逆に、子供は子供なりのことばを豊富にたくわえていて、それらは大人の理解を簡単には受けつけないというのも事実だ。「ドリラゴン」とか「バリガキラ」とか「メガロ」といった怪獣の名前を自在に駆使しながら遊ぶ子供たちのお喋りは、大人にはまるで外国語でも聞いているように奇怪に響く。①

* このように、世代間でことばが通じ合わないというのはこんにちの言語危機の一つの局面であって、それ自体いわゆる「世代の断絶」を基底で支えているといってもよいほどである。むろん、ことばの不通現象はこれまでも存在していたことは確かだが、その大部分は東北弁とか関西弁、九州弁などという訛のかたちでの地方間不通現象だった。それがテレビの普及などでうすれていくと、こんどは今しがた述べたような世代間不通現象があらたに出現したことになる。②

テレビといえは、それによる Y 映像の産出が、よくいわれるように、ことばの位置をうばい、ひいてはことばの効力を減殺したことも重要な点であろう。毎年春になると、就職試験の答案を引き合に出して、大学生がいかに字を知らないか、彼らの語彙がいかに貧困であるかといった記事が新聞などで報道されるが、しかし問題はおそらくそういうところにあるのではない。これは文字と映像の本質にかかわる問題なのだ。③

*^イ シュウチのとおり、文字はあくまで対象そのものではなく、〈もの〉の意味を伝える一種の記号にすぎない。したがって、文字を読む場合には私たちはその記号から想像力をはたらかせ、頭のなかで対象のイメージを作りあげる。ところが、テレビでは対象そのものがいきなりこちらの目にとびこ

んでくる。カラーテレビでは映像の迫真性はさらに高まって、もう私たちの想像力を自由にはたらかせる余地がなにも残らなくなる。こういう想像力の自由な行使をゆるさぬメディアには、テレビのほか、写真やイラストや劇画、漫画などがあるが、こういう映像環境のなかで育てば、感覚的鋭敏さが増すかわり、おのずと想像力は衰弱し、ひいては、想像力のうえに成り立つ言語能力がまずしくなっていくのも当然であろう。【④】

* ことばの危機に直面した場合のもっとも基本的な反応は沈黙であるが、このほかになお二つの反応形式がある。一つは、ことばの本来の意味にとらわれずに、もっぱら新しい音の創造に終始する対応の仕方であって、日本語は、いままでも豊富な擬音語の資産をほこるだけに、この方面で最大の能力を発揮する。音の創造といえば格好はいいが、大部分は外国語の音の安易な引き移しや模倣であって、そのおびただしい実例は街のデパートへでも一歩足をふみいれれば簡単にみつかる。「七三年の秋と冬をゴージャスに装うための高級ニット・プレタポルテバーゲンのコーナーをのぞくと、そこには、カルガンラムジャケット、ベビーラムロングコート、プリントニットツーピース、プレタポルテワンピースなどが並んでいるし、アダルト・ファッションでは〇〇社のロングセラーブランドと銘打つスーツを売出し中で、色はダークで味わいのあるグレーブラウンが中心、柄はプレーンなウインド・ペインや独特のワイドなストライプが主流」といった具合だ。これらはよくよく考えれば原義をなんとか推定することができるが、近ごろ創刊された婦人週刊誌などの名前のように『アンアン』『フンノ』『ジュノン』『るるぶ』となると、もうカイモクわからなくなってしまう。それもあたりまえで、なぜなら、ことばはその意味から切り離されて音の無意味な羅列にすぎなくなり、記号としての条件を失うからだ。【⑤】

(注1) これと対蹠的な関係にあるのが第二の反応形式であって、ここでは、ことばの音を犠牲にしても新たな意味を形で表現しようとする。このためには、表意文字である漢字が Z のは当然であり、しばしば、漢字の造語能力を最大限に活用して、新規の文字を作りだす。一般に、いつの時代にも、若い人が文章をつづると、とかく生硬な漢語や難字を使ったがるものだし、また、明解な日本語を拒否してことさら難解な漢語を学問のことに仕立てあげてきたのは、むしろ明治以後の、いや、遠く漢字輸入以後の、日本の知識人の常套手段にほかならなかった。

(宮本忠雄『言語と妄想』による。設問の関係上、本文を改めたところに*を付した。)

(注) 1 対蹠——正反対の位置関係にあること。

2 常套——ありふれたやり方のこと。

問一 傍線部ア～ウと同じ漢字を含むものを、次の各群の(a)～(e)のうちから、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

アが 1、イが 2、ウが 3。

ア キレツ

- (a) 上司にキカク書を提出する
(b) キセイ緩和を推進する
(c) コツキシンを養いなさい
(d) キセイ同盟を結成する
(e) 縁起のよいキツコウ模様

イ シュウチ

- (a) シュウギインの解散総選挙
(b) ゴエツドウシュウ
(c) シュウチシンのない人
(d) 彼は用意シュウトウな人だ
(e) 遺失物をシュウトクする

ウ カイモク

- (a) 次の五輪のカイサイ国が決まる
(b) 出席は一年間カイキンだった
(c) 目の前のシカイがひらけた
(d) 問題のカイセツを読む
(e) カイコウ一番に切り出した話題

問二 本文は、内容の上から前半と後半に分かれる。前半部分の最後は【①】、【⑤】のどこになるか。次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記

号をマークしなさい。解答番号は 4。

(a) 【①】

(b) 【②】

(c) 【③】

(d) 【④】

(e) 【⑤】

問三 傍線部A「ことばの道具的有効性」について、本文の内容と関連するものとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の

記号をマークしなさい。解答番号は 5。

① 指示

② 想像

③ 象徴

④ 形象

⑤ 比喩

問四 傍線部B「のろしをあげ(る)」とは、本文中ではどのような意味で使われているか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解

答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 6。

① 約束

② 原因

③ 契機

④ 警報

⑤ 結果

問五 文中の空欄 X にはいる言葉として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

7。

① 空語

② 暗語

③ 隠語

④ 死語

⑤ 失語

問六 文中の空欄 Y にはいる言葉として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

8。

- (a) あつかましい
- (b) いかがわしい
- (c) おびただしい
- (d) あわただしい
- (e) さわがしい

問七 傍線部C「文字と映像の本質にかかわる問題」と、最も関連が薄いものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は 9。

- (a) 訛なまりによる地方間不通現象
- (b) 世代間不通現象が生じること
- (c) 大学生の語彙が貧困であること
- (d) 映像の迫真性がさらに高まること
- (e) 私たちの想像力が減衰すること

問八 文中の空欄 Z にはいる言葉として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

10。

- (a) 幅がきく
- (b) 幅をきかす
- (c) 幅をする
- (d) 幅をとる
- (e) 幅をひろげる

メ モ

試験問題は次に続く。

次の文章を読んで、問一～七に答えなさい。

^A 共感主義者たちは「和」をうるさく言い立てます。異論を許さず、逸脱を許さない。みんな思いを一つにしないといけない、われわれは「絆」で結ばれている「ワンチーム」なんだ、と。でも、このときに彼らがめざしている「和」なるものは、多様なものがにぎやかに混在して、自由に動き回っているうちに自然に形成される動的な「和」ではありません。そうではなくて、均質的なものが、割り当てられた設計図通りに、決められたポジションから動かず、割り振られたルーティンをこなすだけの、生命力もハンシヨク力^アも失った、死んだような「和」です。

「調和すること」と「セイシ^イすること」はまったく別のことです。でも、共感主義者たちは、その違いを意図的に混同させています。今の日本社会では「動的な調和」ということは求められていません。求められているのは「割り当てられた場所から身動きしない」ことです。その「檻^{おり}」を形成しているのが、粘ついた共感です。自他の粘ついた共感による癒着が、人が自由に動くことを妨げている。

共感なんか、なくてもいいじゃないですか。そんなものばかり求めていると、身動きできなくなりますよ。きちんと条件を定めて、ルールを決めておけば、共感できない人、理解できない人とも、共生し、協働することはできる。何らかの「よきもの」をこの世に送り出すことはできる。（中略）そのほうが粘ついた共感の檻に閉じ込められて、身動きできずにいることよりも、ずっと愉快だし、有意義だと僕は思います。でも、そのことをアナスする人が少ない。^{*}

（注）^{（い）} 凱風館^{がいふうかん}を設計してくれた建築家の光嶋裕介君が、東日本大震災の後、建築家仲間たちと被災地支援に行ったことがあります。テレビニュースの映像を見たら、被災者たちは体育館の床に寝ていて、プライバシーがない。そこで、体育館をカーテンで細かく区切れば、個室的に使えて、ストレスもずいぶん軽減するだろうと思いついて、カーテン生地やカーテンレールを車に積んで、被災地を訪ねたのです。そして、「カーテンをつけたいんですけど」と言ったら、あちこちで迷惑顔をされたそうです。「勝手にしたら」というのはましなほうで、「余計なお世話だ」と断られたところもあった。家族を失い、家財を失い、生業を失い、これからどう生きていいかわからないという絶望的な状況にいる被災者には「プライバシーの保護のためのカーテン取り付け」というアイデアが「お気楽」に思えたのでしょうか。

それで光嶋君はけっこう落ち込んで帰ってきたのです。そのときに、僕はかつて阪神大震災の被災者だった経験を思い出して、「気にすることないよ。ボランティアって、基本的にはミスマッチなんだから」と彼に言いました。持ち込みの善意なんだから、最初からミスマッチ覚悟で行けばいいんだよ。一〇人に一人くらい「ありがとう」と言ってくれる人がいたら、それで十分くらいの気持ちで行けばいい。

阪神の震災のあと、僕の住んでいたマンションが半壊したために、芦屋の小学校の体育館で寝起きしていたことがありました。数日後から、学生ボ

ランテアが体育館にやってきました。でも、まだ指揮系統もはっきりしないし、仕事の優先順位もわからない。だから、何をしたいかわからなくて、なんとなくその辺でうろろしている。そのうち、することがなくなった学生たちが校庭でサッカーを始めました。これにはさすがに少し「ちゃん」と来ましたけれど、よく考えたら仕方ないんですよ。向こうが「したいこと」と、被災者が「してほしいこと」をすり合わせる機関がないんですから。そのときに、「なるほど、ボランティアというのは本質的にミスマッチなんだな」と思いました。

(中略)

「ミスマッチ」が悪だと思うのは「マッチすること」がふつうだと思っているからです。

共感主義者たちは「マッチすることがふつうだ」と思っている。だから、^C「何も言わなくても、気持ちが通うはずだ」というようなとんでもないことを期待する。

そんなわけじゃないですか。

逆なんです。ふつうは何も言わないと気持ちは通いません。百万語を費やしたって気持ちが伝わらないことだって、しょっちゅうあるんです。

人間というのは「よくわからないもの」なんです。でも、そういう「よくわからないもの」が親子であったり、友だちであったり、夫婦であったり、師弟であったり、ビジネスパートナーであったりして、結果的に何か「よきもの」が創り出せるなら、以^もって瞑^{めい}すべしだと思う。

僕は今でも死んだ両親や兄のことをよく夢に見ます。目が覚めてから、「そうか、そういうことだったのか。あの人ってそういう人だったのか」と腑^ふに落ちることがあります。父は死んでもう二十年になりますけれども、今でもよく父のことを文章に書きます(今回も書きました)。書く度に、父がほんとうは僕に何を言いたかったのが薄紙^Dを剥^はぐようにわかってきます。半世紀も前の父の一言の意味がその頃の父の年齢をはるかに過ぎた今になってわかったりする。一緒に暮らしているときに僕から見て父は「よくわからない人」でしたけれど、死んでからだと理解が深まった。だったら、そんなに焦ることはないと思います。生きて一緒にいるときにはわからなくて、死んでからわかることだってある。それでいいじゃないですか。最近娘との往復書簡を本にしました。手紙をやりとりしているうちに驚いたのは、自分が経験した忘れがたい出来事のいくつかについて、娘がまったく違う記憶を持っていることでした。^E違う話になっている。どちらかが(あるいは両方が)記憶を書き換えているのでしょうか、もう過ぎたことですから、過去に戻って確かめることができない。

でも、それでいいじゃないかと思うんです。二人とも同じ記憶を共有している出来事もあり、同じことについて二人の記憶が違う出来事もある。そういうものだと思います。「二人の記憶が違う出来事」はどちらかが(あるいは二人ともが)うまく呑^のみ込めない出来事だったからです。

(内田樹『日本習合論』による。設問の関係上、本文を改めたところに*を付した。)

(注) 凱風館——筆者が主宰している合気道などの道場。

問一 傍線部ア、イと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

アが 11、イが 12。

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------|
| ア | ハンシヨク | イ | セイシ |
| ① | シヨクサン興業政策について学ぶ | ① | 地位を利用してシフクを肥やす |
| ② | 同じ話ばかり聞かされてシヨクシヨウ気味だ | ② | ギユウシは石けんの原料となる |
| ③ | 卒業記念で校庭にシヨクジュする | ③ | 議論にシユウシフを打つ |
| ④ | フクシヨク関係の仕事を選ぶ | ④ | 著書をジヨウシする |
| ⑤ | 編集作業をイシヨクする | ⑤ | シセイを正して聞く |

問二 傍線部A「共感主義者たちは『和』をうるさく言い立てます」とあるが、共感主義者たちの考える「和」の例として適切でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 13。

- ① 均質的なものが、決められたポジションから動かず、生命力を失ったもの
- ② 思いを一つにしなければならぬと考える「絆」で結ばれているもの
- ③ 割り振られたルーティンをこなすだけの、生命力を失ったもの
- ④ 粘ついた共感にもとづいた、人が自由に動くことを妨げるもの
- ⑤ 多様なものが混在して動き回っているうちに自然に形成されるもの

問三 傍線部B「よく考えたら仕方がないですよ」とあるが、筆者はなぜ「仕方がない」と考えたのか。その理由として最も適切なものを、次の①

① ②のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 14。

② ボランティアが被災地に持ち込んだ善意と、被災者の要望は、基本的にはミスマッチが当然だから。

③ 被災地に来た学生ボランティアは、仕事の優先順位も、何をしていいかもわからなかったから。

④ 学生ボランティアが小学校の校庭でサッカーを始めたことに、怒りを通り越してあきれたから。

⑤ ボランティアがしたいと希望することと、被災者の要望とを調整する組織が存在しないから。

⑥ 体育館にいる被災者にはカーテン取り付けなどどうだっていいから。

問四 傍線部C「何も言わなくても、気持ちが通うはずだ」というようなとんでもないことを期待する」とあるが、筆者が「とんでもないこと」だと判断した理由として最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 15。

① 「マッチすること」がふつうだと考え、人間どうしは言葉に出さなくても気持ちを伝えることができると思信しているから。

② 人生をミスマッチだらけだと認識することで、言葉に出して気持ちを伝えなくても楽しい人生を送れるはずだから。

③ ミスマッチであることが悪いことだと考えるために、それを改善しようとむなしい努力を続けなければならないから。

④ 相手が何を考えているのかわからないときは、共感できなくても当たり前と覚悟しておけば傷つかずにすむから。

⑤ 人間は「よくわからないもの」だと認識し、お互いの気持ちを通わせるためには言葉をつくす必要があるから。

問五 傍線部D「薄紙を剥ぐように」とあるが、ここでの意味として最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 16。

① 物事が徐々にあいまいになっていくさま

② 物事が思うように進んでいかないさま

③ 物事が少しずつはつきりしていくさま

④ 物事がしだいに悪くなっていくようす

⑤ 物事がすばやく進んでいくようす

問六 傍線部E「違う話になっている」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記

号をマークしなさい。解答番号は 17。

(a) 死んだ父がほんとうに言いたかったことの意味が、長い年月が経ってから理解でき、「わからない人」であった父に対しての理解が深まったこと。

(b) 娘と自分の経験した出来事が、お互いがうまく呑み込めなかったために無意識に改変され、自分と娘の記憶が食い違っていること。

(c) 娘と共有していた同じ記憶が、手紙をやり取りしているうちに書き換えられてしまったが、それぞれを過去に戻って確かめることはできないこと。

(d) 娘と自分の経験した出来事が、手を加えられることなく記憶のアーカイブに書き込まれ、それぞれがその記憶を正しいと思っていること。

(e) 自分の経験した出来事を記憶するときに、それを改変してしまったことへのやましさを持ち続けていることに対して違和感をもつこと。

問七 この文章全体の内容に合致するものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 18。

(a) 今の日本社会では、人が自由に動き回ることを妨げる「粘ついた共感による檻」が存在するため、動的な「和」を創り出すことはできない。

(b) 災害がおこったときに、そこに駆けつけたボランティアの善意と被災者の要望とが一致することは現実的にはおこりえない。

(c) 親子や友だち、夫婦などの人間関係のわかりあえなさを自覚することで、よりよい人生を送ることができ、周りの人からも評価されるようになる。

(d) ミスマッチであっても仕方がないと割り切ることによって、周りの人間とよりよい関係を築いていくことができ、結果的に「よきもの」を創り出すことも可能である。

(e) 意味不明だった人の言動やふるまいを、あとになって理解できるようになると、記憶の書き換えがおこなわれ、その人らしさが記憶に定着する。

メ モ

試験問題は次に続く。

三

次の文章を読んで、問一～七に答えなさい。

今の時代に旅行をして、それについて文章を書く、ましてや一冊の本を書くというのは、考えだすといろいろとむずかしいことですよ。ほんとにむずかしい。だって今では海外旅行に行くというのはそんなに特別なことではありません。^(注1)小田実が『何でも見てやろう』を書いた時代とは違うんです。行こうと思えば——つまりその気になって、しかるべきお金さえ出せばということです——まあだいたい世界中どこにでも行けるんです。アフリカのジャングルにだって行けるし、南極にだって行けます。それもバックで行くことだってできる。

①

だから旅行に関していえば、たとえどんな遠くに、どんな僻地^{へきち}に行くにしても、「これはそれほど特別なことじゃないんだ」という認識がまず最初に頭にないと、駄目だと思っんです。過度の思い入れとか啓蒙^{けいもう}とか気負いとかを排して、いわば「いくぶん X」として旅行を捉え^{とら}るところから、今の時代の旅行記は始まらざるを得ないんじゃないかな。「ちよつとそこまで行ってくるわ」というのはいささか極端だとしても、「まなじりを決して」という感じだと、読んでいるほうとしてもいささかしんどいですよね。

②

僕はだいたいにおいて、実際に旅行しているあいだは、そんなに細かく文字の記録はとりません。そのかわりいつも小さいノートをポケットに持っていて、その都度その都度^(注2)ヘッドラインみたいなものをそこに並べて書き込んでいくんです。たとえば「風呂敷^{ふろしき}おばさん！」とかね。あとでノートを開いて「風呂敷おばさん！」という言葉を見れば、ああそうだ、そうだ、トルコとイランの国境近くのあの小さな町にあんな変わったおばさんがいたな、とすっと思ひ出せるような態勢^{たいせい}にしておくんです。要するに自分にとっていちばんわかりやすいかたちのヘッドラインであればいいんです。そういうのを海面に目印のブイを浮かべるように、片端から書き連ねておくわけです。書類引き出しの見出しと同じです。そういうのは何度も何度も旅行しているうちに、だんだん自分なりのやり方がつかめてくるんです。

③

日にちとか場所の名前とかいろんな数字とかは、忘れるとものを書くときに現実的に困るから、資料としてできるだけ^アタンネンにメモしておきますが、細かい記述とか描写はなるべくなら書き込まないようにする。むしろ現場では書くことは忘れるようにするんです。記録用のカメラなんかもほとんど使いません。そういう余分なエネルギーをなるべく節約して、そのかわりこの目でしっかりいろいろなものを見て、頭の中に情景や雰囲気や匂い^{にお}や音なんかを、ありありと刻み込むことに意識を集中するわけです。コウキシンの塊^イになる。とにかくそこにある現実^{じつじ}に自分を没入させることがいちば

ん大事です。肌に染み込ませる。自分自身がその場で録音機になり、カメラになる。経験的に言って、そういうもののほうが、あとになって文章を書くときにはずっと役に立つんです。逆な言い方をするなら、いちいち写真を見なきゃ姿かたちが思い出せないようなことって、そもそも面白い生きた文章にはならないです。

【④】

だから取材といっても作家は見た目には楽なんです。現場ではほとんど何もしていない。ただじっと見ているだけ。カメラマンだけがばたばたと走りまわってる。そのかわり帰ってからがきついですね。写真は現像したらそれでおしまいでけれど、作家のほうはそこから作業が始まるんです。机に向かって、メモした単語をたよりに頭の中でいろんな現場を再現していくわけです。だいたい帰国して一カ月、二カ月たってから文章を書き始めることが多いですね。経験的に言って、それくらいインターヴァルを置いたほうが結果はいいみたいです。そのあいだに沈むべきものは沈むし、浮かぶべきものは浮かぶし。そして浮かんだものだけがすつとうまく自然に繋が^{つな}っていくんです。そうすると文章にひとつの太いラインができてきます。^B忘れるというのも大事なことです。物を書くには。ただそれ以上長く置いちゃうと今度は忘れることのほうが多くなってくるので、ものごとにはあくまで「頃合」というものはあります。

【⑤】

そういう意味では、僕にとって旅行記を書くというのはとても貴重な文章修行になったと思います。考えてみれば、^C旅行記というものが本来的になすべきことは、小説が本来的になすべきことと、機能的にはほとんど同じなんです。たいていの人は旅行をしますよね。たとえば、たいていの人が恋愛をするというのと同じ文脈で。でもそれについて誰かに語るといのは、簡単なことじゃありません。こんなことがあったんだよ、こんなところにも行っただよ、こんな思いをしたんだよ、と誰かに話しても、自分がほんとうにそこで感じたことを、その感情的な水位の違いみたいなものを、ありありと相手に伝えるというのは至難の技です。というか、ほとんど不可能に近い。そしてその話を聴いている人に、「ああ、旅行ってほんとうに楽しいことなんだな。僕も旅行に出たいな」「恋愛ってそんなに素敵なことなんだ。私も素敵な恋愛がしてみたいな」と思わせるのは、それよりもさらにむずかしい。そうですね。でもそれをなんとかやるのが、当然ながらプロの文章なんです。そこにはテクニクも必要だし、固有の文体も必要だし、熱意とか愛情とか感動とかもちろん必要になります。そういう意味では旅行記を書くことは、小説家としての僕にとっても非常に良い勉強になりました。もともとは好きで書いていたのですが、結果的にということですね。

（村上春樹『辺境・近境』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

2 ヘッドライン——記事、原稿に付ける見出し。

号は、
アが 19 、
イが 20 ○

(a) タンドクで行動する

(b) タンラクテキな思考

(c) タンセイ込めて作られた野菜

(d) マットタンにまで行きわたる

(e) タンケンする

(a) キシユクシヤで生活する
(b) 液体をキシヤクする
(c) 地球の自転のシユウキ
(d) キミヨウな事件
(e) コウキを逃す

21

○

(a) 日常的な非日常
 (b) 非日常的な日常
 (c) 遊びのな仕事
 (d) 仕事のな遊び
 (e) 社会的な個人

問三 傍線部A「まなじりを決して」の意味として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は

22。

- (a) 納得して
- (b) 簡単に決めて
- (c) 深く追求することはあきらめて
- (d) どうすべきか悩んで
- (e) 強く決意して

問四 旅行記を書く準備として筆者が旅行中に行っていることとして当てはまらないものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークし

なさい。解答番号は 23。

- (a) 日にちなどの忘れてしまいそうな情報をメモする。
- (b) ヘッドラインを順番などを整理しながら書く。
- (c) 写真やビデオを撮らない。
- (d) おおざっぱに出来事を押さえておく。
- (e) 景色などを感覚的に記憶する。

問五 傍線部B「忘れるというのも大事なことです」の説明として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークし

なさい。解答番号は 24。

- (a) 忘れないと新しい情報が入ってこないから、忘れることは重要だ。
- (b) 白紙にすることで、常に新鮮な気持ちで文章を書くことを望めるので、忘れることは重要だ。
- (c) 忘れることで本当に大切なものだけが残るので、忘れることは重要だ。
- (d) 忘れてしまった部分は自分のなかで創作することができるので、忘れることは重要だ。
- (e) 忘れてはいけないうちで緊張してよい文章が書けないので、忘れることは重要だ。

問六 次の一段落は文章中のどこに入ればよいか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 25。

そういう意味では、アメリカ大陸を車で横断するのと、四国で一日三食、三日間ただただうどんを食べ続けるのと、いったいどっちが辺境なのかちよつとわからなくなってくるところがあります。むずかしい時代です（笑い）。

- ① ① ② ② ③ ③ ④ ④ ⑤ ⑤

問七 傍線部C「旅行記というものが本来的になすべきことは、小説が本来的になすべきことと、機能的にはほとんど同じなんです」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は 26。

- ① 旅行することと恋愛することは同じという点で、旅行記と小説がなすべきことは同じだ。
② 旅行も恋愛も誰がすることだという点で、旅行記と小説がなすべきことは同じだ。
③ どちらもテクニックや固有の文体、熱意などが必要という点で、旅行記と小説がなすべきことは同じだ。
④ 誰がすることを読み手が興味をもつように書くという点で、旅行記と小説がなすべきことは同じだ。
⑤ 旅行記を書くことも小説を書くことも人間的に成長させてくれるという点で、旅行記と小説がなすべきことは同じだ。